

第23回 ジャパン国際シーフードショー

THE 23RD JAPAN INTERNATIONAL SEAFOOD & TECHNOLOGY EXPO

感染症対策への取り組み

2021年10月1日（金）

「シーフードショー」事務局

エグジビション テクノロジーズ（株）



感染症対策の取り組み

今年度の「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」は、昨年度に引き続き、日本政府、東京都、江東区保健所の指針に則り、万全な感染症対策を実施し、安心・安全な開催の実現に努めて参ります。

本対策は、東京ビッグサイト、東京都へ事前相談を実施しており、今後の感染状況に応じて、追加の対策を実施することもあります。「感染防止徹底宣言ステッカー」も取得し、会場入口等へ掲示する予定です。

会期中に於いては、運営事務局内で衛生管理対策班を組織化し、東京都、東京ビッグサイト、と連携を図りながら、会場内の巡回等を実施し、管理徹底に取り組みます。

1. ワクチン接種

1) 出展者

出展者の皆さまには、出来る限りワクチン接種済みの方を会場アテナド者にお選びいただけるようご協力をお願いいたします。

2) 来場者

来場者の皆さまには、出来る限りワクチン接種の上で、ご来場をいただけるよう依頼させていただきます。

3) 来賓、セミナー講師等の関係者

来賓、セミナー講師の関係者には、出来る限りワクチン接種の上で、ご入場をいただけるよう依頼させていただきます。

4) 主催者、運営事務局、協力会社（装飾、警備、等）、出展者の装飾会社、等

上記の皆さまには、出来る限りワクチン接種済みの方を会場アテナド者にお選びいただけるようご協力をお願いいたします。



感染症対策の取り組み

2. 「シーフードショー」が実施する感染症対策

1) 会場設定

- (1) 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、東京都、東京ビッグサイトが定める収容制限人数（最大 5,500 人）に管理いたします。
- (2) 感染者が発生した場合の迅速、かつ的確な対応（通知）に備え、入場者全員の連絡先を、データ化いたします。
- (3) 厚生労働省によるコロナ接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを入場者全員へ徹底し、感染者が発生した場合の迅速、的確な対応への体制を整えます。
※ 端末不所持、またはアプリの入手困難な端末の場合は、ご記入をいただいた連絡可能な先に連絡を実施します。
- (4) 展示会場は、3密対策に配慮したレイアウトを設定します。ブース間を 2m 以上に広げ、ソーシャルディスタンスを確保します。
- (5) セミナー会場は、講演者と聴講者の 2m 以上、聴講者の座席間を 1m 以上に間隔を設定します。
- (6) 開催期間中は、空調設備による換気、会場内の開放し、常時外気を取り入れることで、密閉空間としないようにします。開催前と開催終了後には、シャッターを全て開放し、会場全体の換気を実施します。

※ 11 月 1 日以降の指針は、今月中旬～後半に発表されます。多くの項目に於いて、緩和される可能性があります。



感染症対策の取り組み

2) 期間中の取り組み

- (1) 入場者全員を対象に、サーモグラフィー（アイフェイススキャナー）による検温後、正常な体温の方のみ入場可とします。
※ 37.5 度以上の熱を感知した場合は、入場をお断りします。
- (2) 入場者全員を対象に、会場内ではマスク、またはフェイスガード等の着用を義務付けます。未所持の方には、事務局で販売、または近隣での購入を案内し、未着用での入場を禁止いたします。
- (3) 会場出入口、セミナー会場出入口、試食用共有キッチン出入口に、アルコール消毒液を設置し、入場者全員に利用を依頼します。
- (4) 商談コーナーやインフォメーション等、人と人が対面する場所は、アクリル板等の設置による飛沫感染防止に取り組みます。
- (5) 受付、セミナー会場入口等の待機列が予想される場所には、床面に 1m 以上の間隔目印を貼付し、待機列に十分な間隔を確保し、密集・密接状態を避けます。
- (6) 公の場所は、東京ビッグサイトが、定期的に消毒を実施します。
- (7) セミナー会場の演台及び司会台には、アクリルパネルを設置いたします。講演者と聴講者の 2m 以上、聴講者の座席間を 1m 以上、間隔を設け、3 密対策に取り組みます。



感染症対策の取り組み

3. 出展者、来場者の皆さまに実施いただく感染症対策

- 1) 検温を毎朝実施いただき、37.5 度以上の熱がある、体調がすぐれない、感染症の疑いがある場合は、入場をお控えいただきます。該当する場合は、運営事務局までご連絡をいただけるように連絡します。
- 2) 会場内では、マスクまたはフェイスガードの着用をお願いします。
- 3) 入場時は、アルコール消毒液で、手指の消毒を行っていただきます。開催中も、適宜、手指の消毒をお願いいたします。
- 4) ブース内で不特定多数の手が触れる箇所は、適宜、消毒作業を行っていただけるようお願いします。
- 5) ブースに於ける、商談、および試食提供の際は、出来る限り密な状態を作り出さないように配慮をお願いいたします。
- 6) 商談を実施した相手の連絡先、日時を控えていただき、開催 3 週間後までは、名簿の保管をお願いします。万が一、感染者が発生した場合は、名簿の提出にご協力いただく場合があります。
- 7) 出展に係るすべての関係者（施工会社含む）のお名前・連絡先を、事前に登録（WEB 登録）していただきます。万が一、感染者が発生した場合は、関係者のお名前・連絡先を、指定機関に提供します。
- 8) ブースを施工する場合は、作業に負担のかかるデザインを避け、施工時間の短縮と人員削減による安全な作業環境を確保いただくことを推奨いたします。施工中も作業には、マスク着用の徹底をお願いします。
- 9) 厚生労働省が提供している「コロナ接触確認アプリ」(COCOA) をご登録いただきます。
- 10) 会場内で呼び込みをする場合は、一定の距離を確保し、飛沫感染防止にご協力いただきます。
- 11) 開催前後、及び開催中は、感染リスクが生じる行動は、避けていただきますようお願いいたします。



感染症対策の取り組み

- 12) 清掃・消毒作業は、手袋を着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底してください。
使用済みの手袋・マスクを廃棄する場合は、ビニール袋に入れて縛る等、密閉しての廃棄をお願いします。
- 13) 開催終了後 14 日以内に、新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、運営事務局までご連絡いただきます。
- 14) 江東区保健所の指針を順守した試食提供
 - (1) 調理をする場合は、人通りが少ないブース内側のシンク周辺、または試食用共有キッチンのシンク周辺で調理されたものに限り、試食提供を許可します。
調理スペースは、出来る限りパーティション等で囲い、周囲からの飛沫防止対策にも配慮をお願いします。
 - (2) 試食品は、外気、周囲からの飛沫に触れないように蓋（ふた）、ラップ等で覆うようにお願いします。
※ 出来る限り、一食ずつ個包装することをお勧めいたします。
※ 加熱調理品は、個包装する必要はありませんが、一食毎に皿を分けて提供してください。加熱後は、すぐに提供いただき、時間が経過したものは提供を不可とします。
 - (3) 調理機器、調理器具は、使用时以外は外気、周囲からの飛沫に触れないよう保管いただき、また、調理者以外が触れないよう管理をお願いします。

※ 11 月 1 日以降の指針は、今月中旬～後半に発表されます。多くの項目に於いて、緩和される可能性があります。